



令和7年度 教育活動にかかわるアンケートの結果について

令和7年度(令和7年12月実施)も保護者の皆様にアンケートをお願いしましたところ、お忙しい中、多くのご家庭からご回答をいただき、ありがとうございました。(回答率73.3%)

ご回答の中では多くの好意的、肯定的な評価をいただきました。また、評価が低かったものにつきましても原因を考え、次年度の課題としていきたいと思っております。なお、児童にも類似したアンケートを実施し、質問内容が重なるところを比較しました。

今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

とてもそう思う
 だいたいそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない
 わからない

○:保護者アンケート

●:児童アンケート

回答率:73.3%(保護者アンケート)

1 学校についての内容

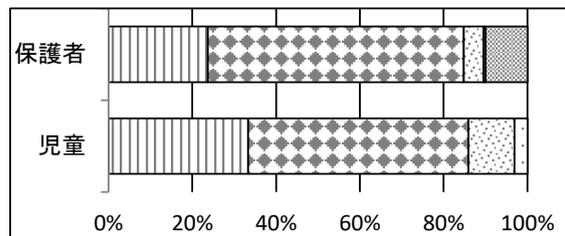
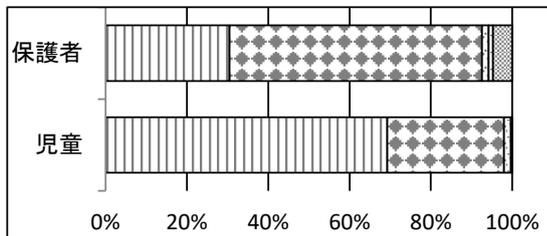
(1)学習指導

○ 学校は授業を工夫し、わかりやすく指導している。

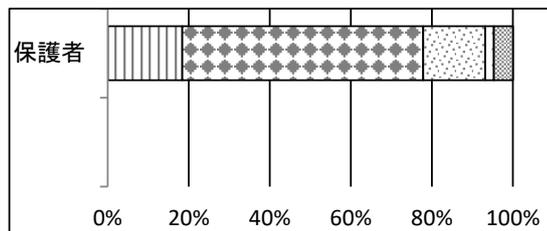
● 先生はじゅぎょうをわかりやすく教えてくれる。

○ 学校は道徳教育を通じて、いじめの指導や心の教育に努めている。

● 学校のきまりをまもって生活している。



○ 学校はタブレット等のICT機器を活用して、授業を工夫している。

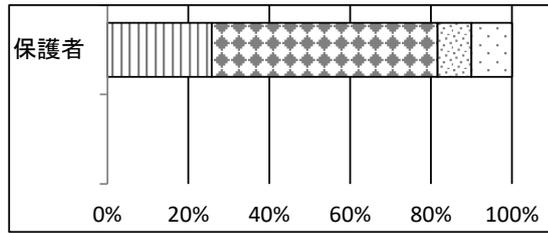


・わかりやすい指導の項目では、児童の97.2%、保護者の92.6%から肯定的な回答(昨年比+4.4ポイント)をいただきました。今後もわかりやすい授業の実施をしていきます。また、授業のことや指導についてご不明な点は、学校までお問い合わせください。

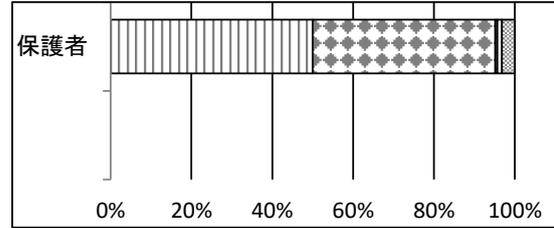
・道徳教育についての項目では、84.8%の保護者から肯定的な回答(昨年度比+6.9ポイント)をいただきました。特別の教科 道徳の研究を2年間行ったことにより、基本的な指導方法がどの教員にも身に付いています。道徳の授業で培った力を日々の生活の中で生かしていけるように、丁寧な指導を続けていきます。

(2) 教職員の対応

学校は、子どもについての悩みや相談に気持ちよく応じている。

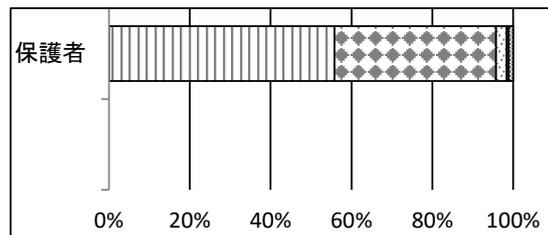


学校は、電話や訪問した際の教職員の対応が適切である。

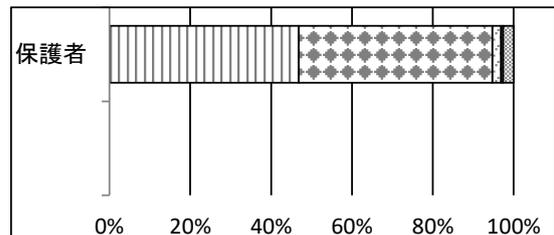


(3) ホームページ、地域との協力、施設設備等

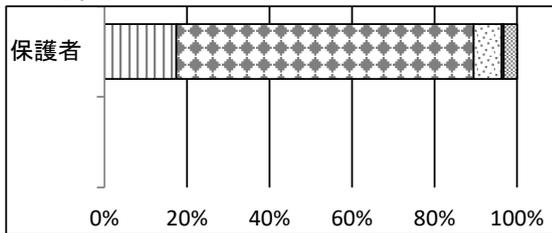
学校は、お便りやホームページ等で教育活動の様子をわかりやすく伝えている。



学校は、保護者や地域の方々と協力して教育活動を行っている。



学校は、施設設備等の教育環境が整備されている。



・子どもの悩みについては、教員、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、また、場合によっては、スクールソーシャルワーカー、教育相談センター、子ども家庭支援センター等、外部機関との連携を図りながら継続して対応しています。また、カラフルームの利用についても柔軟に対応しています。いつでもお気軽にご相談ください。

・お便りやホームページ等については、肯定的な回答をした保護者の割合が95.8%でした。今後もホームページやお便りを通じて、子ども達の様子をお伝えしていきます。

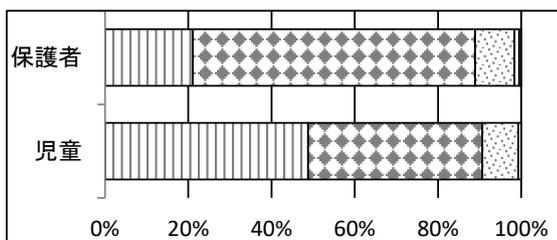
・「児童応援ボランティアあさひっこ友の会」のスタッフの皆様をはじめ、多くの皆様にボランティア活動を支えていただきました。また、町会や青少年育成第六地区委員会の皆様にもお力をいただいているところです。今後も子ども達の健全な育成のため、お力を賜りますようお願いいたします。

2 児童についての内容

(1) 学習指導

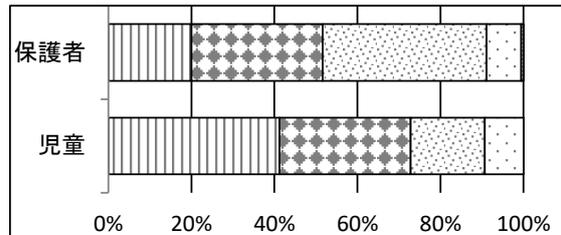
子どもは、学習内容をよく理解している。

授業で学習したことがよくわかっている。



子どもは、すすんで読書をしている。

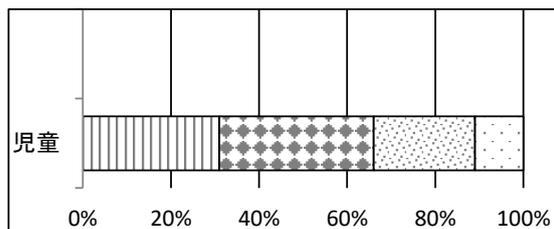
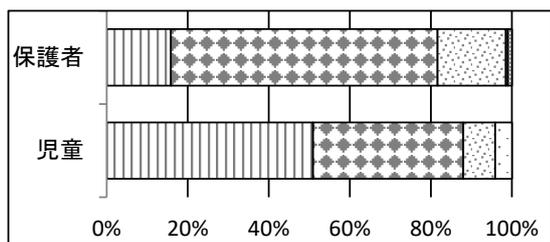
すすんで読書をしている。



○ 子どもは、家庭学習を通じて、基礎基本を身につけている。

● 宿題をしっかりと行っている。

● すすんで発表をしている。



・学習理解、家庭学習(宿題)、すすんで発表については、昨年度と比較しどの項目も横ばいでした。
 ・主体的な読書については、肯定的な回答をした保護者の割合が昨年度比-7ポイントでした。2年前と比較すると-12ポイントです。年々、家庭で本を手にする習慣が減少していることが伺えます。学校では年2回の読書旬間、図書ボランティアさんによる読み聞かせ、ブックトークや本の探検ラリー、タブレットを活用したデジタル図書館など、引き続き、意欲的に読書に取り組めるような活動を推進していきます。

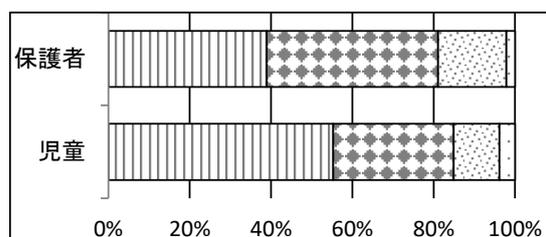
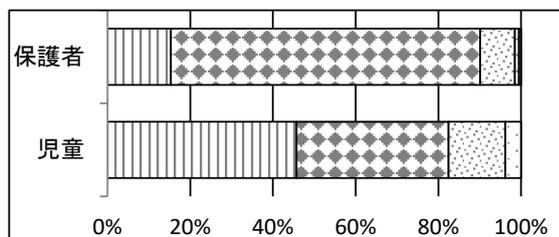
(2) あいさつ、運動等

○ 子どもは、あいさつや言葉づかい等の基本的な生活習慣が身に付いている。

● あいさつをしっかりと行っている。

○ 子どもは、すすんで外遊びや運動をしている。

● すすんで外あそびや運動をしている。



・あいさつについては、肯定的な回答をした保護者が90%(昨年度比+7.3ポイント)でした。これからも、学校だけでなく、家庭や地域においてもすすんであいさつができるように指導を続けていきます。
 ・外遊びや運動については、約8割の保護者と児童が肯定的な回答をしています。学校では、体育の授業を通して運動の楽しさを味わわせるとともに、体力向上につながる体育的行事をさらに充実させていきます。

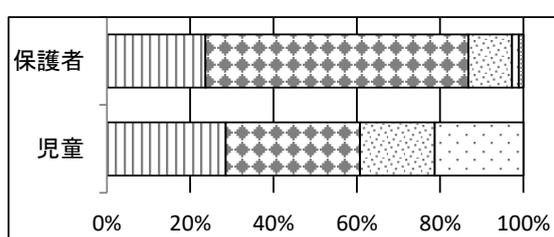
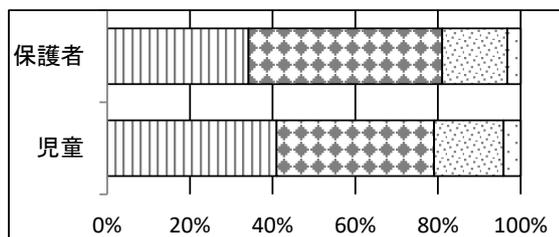
(3) 家庭での会話

○ 子どもは、学校での出来事について、よく話している。

● 家の人に、学校のことをよく話している。

○ 家庭では、タブレットやスマートフォン、インターネット等の使い方について話し合っている。

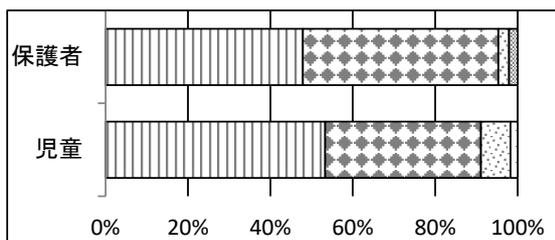
● 家でタブレットやスマートフォン、インターネットの使い方について、話し合っている。



・家庭での会話については、約8割の保護者、児童ともに肯定的な回答でした。昨年度と比較しても変わりない傾向です。高学年になるにつれ学校のことを話さなくなることは、成長段階から見ても仕方のないことと言えます。しかしながら、いじめや生命に関すること等についてのSOSは、必ず大人に伝えるように指導をしています。お子さんのことで何かありましたら、学校にお知らせください。迅速に対応いたします。
 ・SNSルールについては、保護者と児童の肯定的な回答の差が26ポイントもあり、児童においては61%と低い状況です。児童の意識を高く保つためには、ご家庭での話し合いが欠かせません。SNSルールについては、日常的に繰り返しお子さんとの確認をお願いいたします。学校でも引き続き、折に触れて指導してまいります。

(4) 学校生活

- 子どもは、楽しく学校生活を過ごしている。
- 学校生活は楽しいと思う。



・学校生活の楽しさについての質問では、95.3%の保護者、91.1%の児童が肯定的な回答をしました。今後も学習、生活、行事等の教育活動全体を通して教育目標の実現を図り、児童が健やかに伸び伸びと成長していけるように、そして、どの児童にとっても安心して楽しく過ごせるように、教育活動に尽力してまいります。

3 学校評議員より ※学校評議員会 2月4日(水)実施

・低学年は元気よく、楽しそうに授業を受けている様子が伝わってきた。また学年が上がるにつれ、落ち着いて学習をしていることが伺えて安心した。授業がわかると答えた児童が97.2%と聞いて、先生方の努力が報われるようで嬉しく思う。

・学校ホームページや学校だより等の情報発信について、保護者アンケートの評価結果が高いことは大いに頷ける。具体的な授業や行事の様子が写真とともに記載されているので、家庭での会話のきっかけになっていると思う。これからも続けてほしい。

・毎年、町会が年末に実施している夜警に、多くの親子が参加してくれたことは地域の安全性を高めることにつながると思う。

・登校班の見守りを毎日しているが、子供たちが挨拶をよく返してくれる。高学年が上手に下級生を率いているので、登校班も楽しい思い出になってくれると嬉しい。

・地域のイベントとして、学校応援団まつりを毎年実施している。学校と地域、そして保護者がこれからも一体となって子供たちと一緒に育んでいきたい。

・上練馬公園で、危険な遊び方をしている子供がいる。道路に大の字で寝そべっていたり、急に飛び出したりしている子供が多い。公園の敷地内で遊ぶように指導を徹底してほしい。

・下校時に正門を勢いよく走り出る子がいたり、広がって歩いたりしている。車も通るため、命の危険がある。下校の仕方についても指導を徹底してほしい。

・キッズ携帯やGPS付メッセージ機器を持たせる際の約束が守られていない。校内ではランドセルから出さない約束のはずだが、ひろばで出しているお子さんがいる。保護者に再確認するとともに子供がルールを守るように指導をお願いしたい。

・SNSルールの保護者と子供の意識の差に驚いた。全学年への情報モラル教育が必須となったことを考えると、残念ながらSNSトラブルの低年齢化が進んでいると感じた。学校で指導されたことを家庭で守らせていくことが大切だと思う。

・昇降口にベビーカー置き場を一時的に作るのはいかがでしょうか。学校公開日に廊下でベビーカーを押している方がいて、子供がぶつかりそうになっていた。

・5歳児健診が始まることになった。発達課題を早期に発見することで、適切な教育環境を提供できるようになることを期待している。

・幼保小の連携として、年間に4回の交流会を設けていることは、小1ギャップを乗り越える大きな手立てとなっていると感じた。

・あさひっこ友の会の運営スタッフを中心に、地域の防犯対策の一環として、地域パトロールを実施する予定である。

学校だより2月号でもお知らせしましたが、保護者の皆様からいただきました主なご意見・ご感想についての回答も含め、学校説明会におきまして、校長が詳細に直接お話いたします。皆様のご参加をお待ちしております。(当日は、この資料を持って参加するようお願いいたします。)

学校説明会日時:3月2日(月)15:30～ 体育館